

学力向上を図るための全体計画

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 関係法規
- 都・区教育目標

- 学校教育目標**
- 健康で明るい子ども
 - よく考え工夫する子ども
 - 思いやりのある子ども

- 児童の実態
- 学校の実態
- 保護者の願い
- 地域の願い
- 教師の願い

学校経営計画

「学ぶ楽しさ 生きる喜びにあふれる学校 友達大好き、自分も好き 早宮の子」(本校の学校経営のキーワード)

- 学力の向上
- 豊かな心の育成
- 体力の向上
- 組織体制の一層の充実
- 教育環境整備と開かれた学校づくり

各教科等の指導の重点

- ・ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- ・ 習熟度別指導や個別指導等指導方法を工夫する。
- ・ 体験的活動や課題解決学習を効果的に取り入れ、よく分かる・よく考える学習を展開する。
- ・ 主体的に学び、判断できる能力の育成を図る。
- ・ 年間を通して読書活動を推進し、豊かな心や読み取る力の育成を図る。

道徳教育の指導の重点

- ・ 全教育活動を通して道徳的心情や正しい判断力を育てると共に、SSTを通して社会性を身に付け、実践しようとする態度を養う。
- ・ 思いやりの心を持ち、自分や友達のよさを大切にする心を育てる。
- ・ 心のふれあい週間や挨拶運動を通して、人との関わりを深める態度を養う。

本校における「確かな学力」

○ 基礎基本を重視し、魅力ある、勢いのある、潤いのある教育活動の中で、確かな学力の定着を図り、生きて働く学力を身に付ける。

総合的な学習の指導の重点

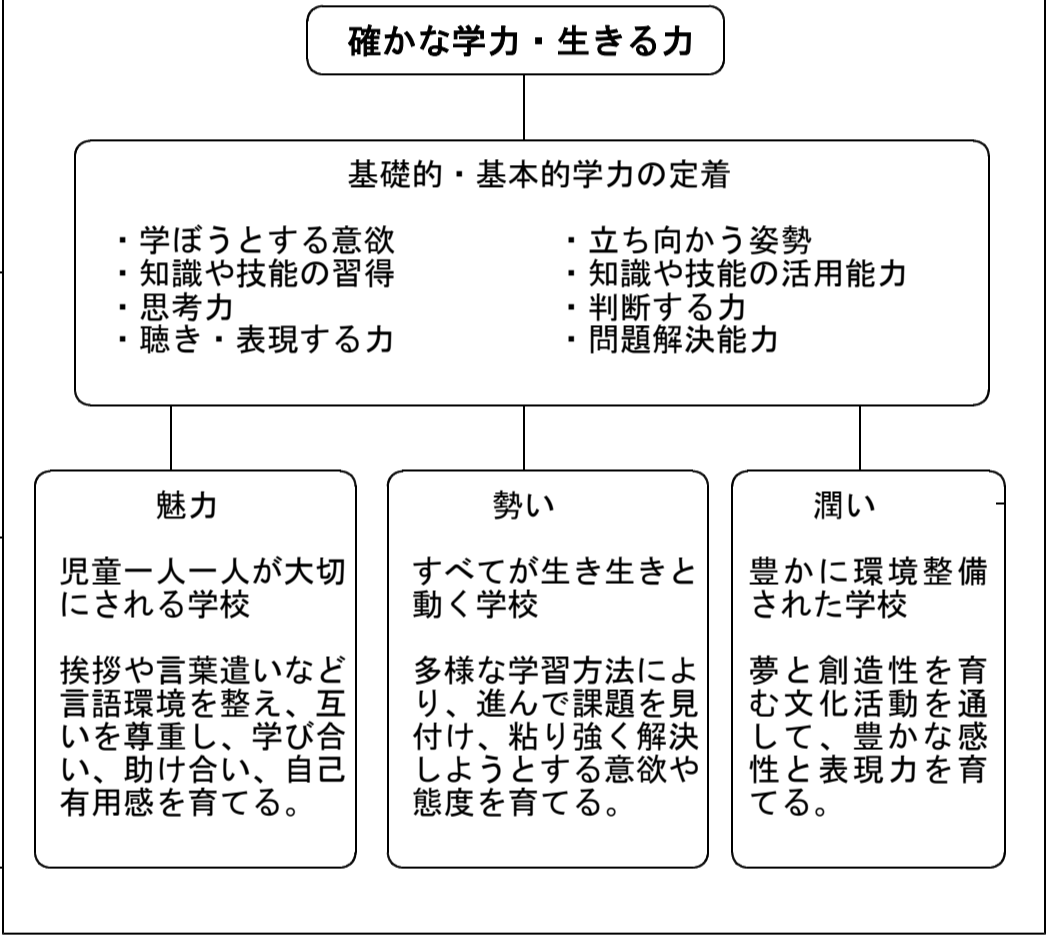
- ・ 地域の人・自然・社会等とのふれ合いの中から、自らの課題を見つけて考え、解決する能力を培う。
- ・ 学び方や考え方を身に付け、よりよく生きようとする自己の生き方を考える態度を養う。

特別活動の指導の重点

- ・ 学校生活を豊かにするための自主的・自立的な活動を促し、所属感・充実感を高める。
- ・ 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
- ・ 縦割り班活動を充実させ、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を養う。

外国語活動の指導の重点

- ・ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- ・ 言語や文化について、体験的に理解を深める。



魅力

児童一人一人が大切にされる学校

挨拶や言葉遣いなど言語環境を整え、互いを尊重し、学び合い、助け合い、自己有用感を育てる。

勢い

すべてが生き生きと動く学校

多様な学習方法により、進んで課題を見つけ、粘り強く解決しようとする意欲や態度を育てる。

潤い

豊かに環境整備された学校

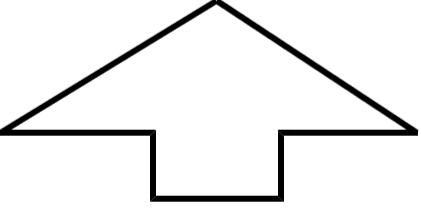
夢と創造性を育む文化活動を通して、豊かな感性と表現力を育てる。

生活指導の指導の重点

- ・ 人と人との関わりを重視し、自他の生命を尊重する心情や態度を養う。
- ・ 基本的生活習慣や、規範意識を身に付けさせる。
- ・ 児童理解に努め、全職員が協力して指導に当たる。
- ・ 個々の困り感に寄り添い、解決に努める。

進路指導の指導の重点

- ・ 自らの個性や能力に気付かせ、将来の夢や希望の実現に向かおうとする自己教育力を高める。



各学年・専科における授業改善に向けた取組
1年 2年 3年 4年 5年 6年 専科

本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究・研修の工夫	評価活動の工夫	家庭・地域との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じた課題別、別学習を工夫する。 ・ 習熟度別学習指導(算数)で学力の定着を図る。 ・ 習得と活用を図る指導を工夫する。 ・ 教科の特性を踏まえた言語活動を充実させる。 ・ 学力補充教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時数を十分確保する。 ・ 学校行事の見直しを図る。 ・ 体力向上の取組を行う。 ・ 朝の時間を活用した読書活動の取組を行う。 ・ 心のふれあい週間で個別指導を行う。 ・ ゲストティーチャー(専門家)を活用した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業研究を中心とした校内研究を充実させる。 ・ 研究成果を日常の授業に生かす。 ・ 若手OJTを実施し授業参観を通じた、授業力向上のための研修を深める。 ・ 研修等、校外で得た教育情報を報告し合う。 ・ 主任教諭発のミニ研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導と評価が一体となった評価計画を作成し実施する。 ・ 児童の関心・意欲を高める評価活動を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間6日の学校公開および、道徳授業地区公開講座を実施する。 ・ 挨拶運動やクリーン運動など保護者の会と共に実施する。 ・ 地域や保護者の教育力を積極的に活用する。 ・ 家庭学習の推進により基礎基本の学力の定着を図る。 ・ 全体計画をホームページ等に掲載し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校区別協議会で協議し共通理解した内容を日常の授業に生かす。 ・ 校内研究授業を他校の教員に公開し、幅広く意見を求めることで、校内研究をより充実させるとともに、授業改善に生かしていく。 ・ 小中一貫教育実践校及び研究グループの実践例を参考に、授業改善を進めていく。